

解禁あり 日時：12月18日午後3時30分

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



平成29年12月15日
中部地方整備局

三 重 県

大規模津波防災総合訓練を“はじめて『三重県』で開催！”

～平成30年11月3日、「四日市港霞ふ頭」にて！ サテライト会場は、「鳥羽市」！～

1. 概要

このたび、平成30年度大規模津波防災総合訓練を11月3日に三重県四日市市の四日市港霞ふ頭で実施することを決定しました。

中部圏における代表的な貿易港であり、我が国有数の石油化学コンビナートを擁するエネルギー基地であるとともに国際海上輸送のコンテナ定期航路網が充実した「国際拠点港湾」である四日市港では、大規模地震や津波により、火災や危険物の流出などの災害が周辺地域に影響を及ぼす可能性があることから、企業と行政など、関係機関が一体となり「上空、海上、陸上」において総合的な防災訓練を実施します。

また、南海トラフ地震などによる津波が予想される鳥羽市をサテライト会場として、地震発生時の住民避難や救援等について、住民参加による訓練も実施する予定です。

国土交通省では、中央防災会議で決定された総合防災訓練大綱に基づき、平成17年度より、「大規模津波防災総合訓練」を毎年実施しています。

平成27年12月、国連総会本会議で11月5日を「世界津波の日」として決議されるなど、国際社会において、津波対策の重要性についての意識が高まるなか、この訓練は、「世界津波の日」の周辺の日を実施しています。

南海トラフ地震などによる津波が想定される地域において、関係機関と連携し、被災者の救助・救出活動、活動支援のための TEC-FORCE による緊急排水や道路・航路啓開、緊急物資輸送などの実動訓練を実施するものです。

なお、第1回目の訓練実行委員会設立準備会を以下のとおり、12月19日に開催することとしましたので、あわせてお知らせします。

2. 大規模津波防災総合訓練実行委員会設立準備会

日 時 : 平成29年12月19日(火) 午後1時30分～午後3時

場 所 : 四日市市役所 6F 本部員会議室

準備会参加機関 : 中部管区警察局・陸上自衛隊第10師団

海上自衛隊横須賀地方総監部・航空自衛隊中部航空方面隊

第四管区海上保安本部・四日市海上保安部

三重県警察本部・四日市市消防本部・三重県

四日市市・鳥羽市・四日市港管理組合・中部地方整備局

3. 添付資料

《別紙-1》平成30年度 大規模津波防災総合訓練 概要資料

《別紙-2》平成29年度 大規模津波防災総合訓練 実施概要

4. その他

解禁日時 : 平成29年12月18日(月) 午後3時30分

(三重県知事 記者会見日時)

5. 配付先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、愛知県政記者クラブ、
岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、
三重第二県政記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、
日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

6. 問い合わせ先

(訓練全体に関すること)

中部地方整備局 企画部 防災課 TEL 052-953-8357 (担当 竹内、野田)
FAX 052-953-8362

(港湾(海上訓練)に関すること)

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
TEL 052-209-6328 (担当 堀池、松永)
FAX 052-209-6334

(三重県に関すること)

三重県 防災対策部 災害対策課
TEL 059-224-2186 (担当 西川)
FAX 059-224-2199

平成30年度 大規模津波防災総合訓練概要（案）

1. 訓練日時

平成30年11月3日（土） 午前中

2. 訓練場所

メイン会場 : 三重県四日市市霞二丁目（四日市港霞ふ頭）
サテライト会場 : 三重県鳥羽市

3. 参加機関

主催 : 国土交通省、三重県、四日市市、鳥羽市、四日市港管理組合
共催 : 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
参加機関 : 【調整中】

4. 訓練概要

○訓練の想定地震規模

・南海トラフ地震 最大震度7（四日市市など）

○ポイント

・中部圏における代表的な貿易港であり、我が国有数の石油化学コンビナートを擁するエネルギー基地であるとともに国際海上輸送のコンテナ定期航路網が充実した「国際拠点港湾」である四日市港では、大規模地震や津波により、火災や危険物の流出などの災害が周辺地域に影響を及ぼす可能性があることから、企業と行政など、関係機関が連携し、被災者の救助・救出活動、活動支援のための TEC-FORCE による緊急排水や道路・航路啓開、緊急物資輸送など、総合的な実動訓練を「上空、海上、陸上」において実施。

・また、南海トラフ地震などによる津波が予想される鳥羽市をサテライト会場として、地震発生時の住民避難や救援等について、住民参加による訓練を実施。

○訓練内容（案）

■上空訓練

①情報収集・伝達訓練

・各機関が所有する航空機、ヘリコプター等による上空からの情報収集、伝達 等

②救命・救急訓練

・海上漂流者や孤立者の人命救助、上空からの巡視船等への着船 等

③支援部隊派遣訓練

・航空自衛隊との連携による被災地域への TEC-FORCE 派遣 等

■海上訓練

①救命・救急訓練

- ・津波到達までの船舶避難や津波襲来後の漂流者の救助、負傷者搬送 等

②被災調査訓練

- ・港湾施設被害調査や深淺測量 等

③航路啓開訓練

- ・航行の妨げとなる航行障害物の揚収、船舶による油防除により航路を確保 等

④緊急物資輸送訓練

- ・海上からの給水支援、物資等の海上輸送 等

■陸上訓練

①情報収集・伝達訓練

- ・地震発生後に発表される震度速報や津波警報の情報提供及び解説、気象庁記者会見の映像提供
- ・地域住民に対しての地震情報等の収集、情報伝達 等

②救命・救急訓練

- ・地震津波による倒壊家屋及び破損車両から要救助者救出、及び応急救護所までの搬送
- ・臨時医療救護所内でのトリアージ、災害対策支援車両内における応急救護活動及び身元確認
- ・延焼中の倒壊家屋等の消火作業 等

③道路啓開訓練

- ・地震津波による道路障害物、被害状況を調査
- ・緊急車両等の通行のため、がれきや車両等の撤去、路面段差の応急対策、応急組立橋設置による、車両の走路（救援ルート）を確保 等

④浸水対策訓練

- ・地震津波による浸水及び堤防の決壊箇所等の被災状況調査
- ・大型土のうによる仮締切設置作業、浸水箇所の排水作業 等

⑤石油化学コンビナート等防災訓練

- ・四日市臨海地区における石油コンビナート防災計画に基づいた訓練

⑥ライフライン復旧訓練

- ・地震津波により被害が生じたライフライン（水道、下水道、ガス、電気、通信）について、各機関による応急復旧活動の実施 等

■避難訓練（サテライト会場）

- ・住民避難広報、避難所への住民の速やかな避難誘導、救援物資搬送を実施 等

■災対本部・情報通信訓練

- ・地震発生後に災害対策本部を設置し、情報収集・伝達訓練を実施 等

■展示エリア

- ・津波防災に役立つパネルや実動車両など、大人から子どもまでが楽しめる展示エリア 等

5. その他（参 考）

■大規模津波防災総合訓練 過去の開催場所

年度	開催地
H17	和歌山県
H18	徳島県
H19	宮城県
H20	宮崎県
H21	静岡県静岡市
H22	北海道
H23	（中止）
H24	岡山県
H25	茨城県
H26	大阪府、和歌山県
H27	新潟県
H28	高知県高知市
H29	宮崎県宮崎市

※H28からは、11月5日が「世界津波の日」（27.12 国連総会本会議）と決議されたことを受け、南海トラフ地震で甚大な被害が想定される、四国、九州、中部、近畿地域で訓練を実施

■ H30年度 大規模津波防災総合訓練位置図



【メイン会場】四日市港霞ふ頭



- 開催日時 平成29年11月3日(金) 8:45~12:00
- 実施場所 宮崎県宮崎市(宮崎港)[メイン会場]
宮崎県宮崎市郡医師会病院、大宮小学校 他[サテライト会場]
- 実施訓練 避難訓練、救助・救出訓練、排水活動訓練、道路啓開訓練、航路啓開訓練、緊急物資輸送訓練 他
- 参加機関 145機関 ■ 参加者 約3,000人参加(内一般来場者700人)

実施した主な訓練

<<避難訓練>>

■ 命の丘への避難訓練



<留学生等による避難>

<<情報収集・伝達訓練>>

■ 上空からの情報収集訓練



<九州地方整備局防災ヘリ>

■ バイク隊による情報収集訓練



<宮崎県警バイク隊>

<<救命・救急訓練>>

■ 海上漂流者の救助訓練



<第十管区海保 漂流者救助>

■ 倒壊家屋からの救出訓練



<陸上自衛隊による救出>

■ トリアージの開設



<DMAT・自衛隊等によるトリアージ訓練>

<<道路啓開訓練>>

■ 重機よるがれき撤去訓練



<県建設業協会等によるがれき撤去>

<<浸水対策訓練>>

■ TEC-FORCEによる排水訓練



<排水ポンプ車を使用した排水活動>

<<物資輸送訓練>>

■ 海上からの緊急物資輸送



<フェリーを利用した物資海上輸送訓練>

<<航路啓開訓練>>

■ 船舶による航路啓開訓練



<災害協定団体の起重機船啓開>

<<ライフライン復旧訓練>>

■ 上下水道、ガス通信の復旧訓練



<宮崎管工事共同組合等による復旧訓練>

<<展示>>

■ 43機関によるテント内展示



<各機関によるテント内展示>